

BeoCenter 2

ガイド - ソケットユニット



警告: 火災や感電を避けるため、この製品を雨の中にさらしたり、極端に湿度の高い場所で使用することは絶対にやめてください。水が垂れ落ちてくる可能性がある場所での使用や、花瓶など水を含んだ容器類をこの製品の上に置くことも、絶対にやめてください。

この機器と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

アメリカ向け特記事項

注意: 本製品は、連邦通信委員会規定第 15 項に従って検査され、クラス B デジタル装置の制限に適合することが証明されています。この制限は、一般家庭で使う場合に起こり得る有害な干渉に対し、適正な防護措置を講じるためものです。

本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示通りの設置や使用が行なわれないと、無線通信に有害な干渉を行なう恐れがあります。ただし、このような干渉が発生しない条件を、特定することはできません。もし、本製品がラジオやテレビの受信に干渉するようであれば、本製品の電源をオン/オフすることで干渉源が本製品であることを再確認したうえ、以下の方法を用いて干渉を除去してください。

- 受信アンテナの向き、または設置場所を変える。
- 受信装置から本製品を遠ざける。
- 受信装置とは別の電気回路にあるコンセントに、本製品を差し込む。
- 販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

カナダ向け特記事項

警告: 感電の危険を防ぐため、この機器に付属する有極プラグを、延長コードやソケット、およびその他の差し込み口に接続して使用する時は、必ずプラグ全体が隠れるまで深く差し込んでください。

このクラス B デジタル装置は、カナダの妨害発生源機器規則のすべての要件に適合しています。

目次

システムの設置, 4

BeoCenter 2 と、ソケットユニットの設置方法

ケーブルの接続, 6

ソケットユニットへの、各ケーブルの接続方法

ウォールブラケットを使った設置, 8

付属のウォールブラケットに、ソケットユニットを取り付ける方法

オーディオ/ビジュアルシステム, 10

オプションを正しく設定して、さまざまなタイプの AV システムを操作する方法

システムのクリーニング, 12

本製品およびディスクのクリーニング方法

索引, 13

システムの設置

このガイドの説明に従って、システムが正しく設置され、接続されていることを確認してください。

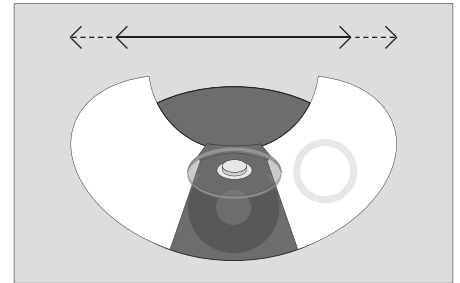
ご自分で設置をされる場合は、以下の手順に従ってください:

- 1 マスターユニットとソケットユニットを、付属のケーブルで接続します。
- 2 ソケットユニットのすべての端子に、ケーブルを接続します。この段階では、まだ電源につながないでください。
- 3 全ケーブルを、ソケットユニット両端の開口部から外に出します。
- 4 ソケットユニットの端子類を、ケーブルカバーで覆います。
- 5 電源につなげます。

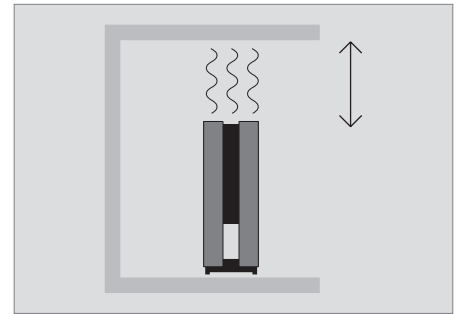
ソケットユニットをウォールブラケットに取り付ける方法は、のちほどご説明します。

マスターユニットとソケットユニットの設置 …

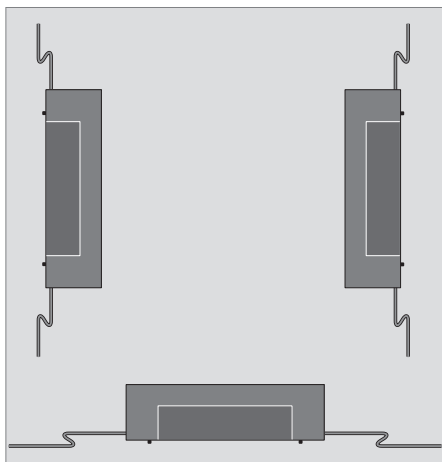
- マスターユニットは、テーブルやサイドボードなどの安定した平面に設置してください。スタンドおよびウォールブラケットは、Bang & Olufsen が推奨する製品だけを使ってください。
- BeoCenter 2の上には、絶対に物を置かないでください。
- 本製品は、一般家庭の室内で使うよう設計されています。通常の湿度で、10-40°Cの室温が保てる環境でお使いください。
- 本製品を、直射日光のあたる場所や、ストーブなど熱源のそばに置かないでください。
- 6ページの説明どおりに全ケーブルの接続が終わるまで、本製品を電源につながないでください。
- 本製品を完全にオフにするには、電源から切り離す必要があります。抜き差ししやすい位置にあるコンセントを選び、電源ケーブルを接続してください。
- ソケットユニットを床のすぐ近くの壁面上に設置する場合は、ウォールブラケットへ取り付ける前に、必要なケーブルの接続をすべて終わらせてください。また、ウォールブラケットからソケットユニットを取り外すのに十分な空間が、確保されていることを確認してください。
- ウォールブラケットを固定する前に、各ケーブルの長さが充分であることを確認してください。
- ソケットユニットは、床の上などに、縦置きまたは横置きできます。ただし、適切な通気が行なえる空間を、必ず確保してください。必要に応じ、付属のウォールブラケットを使い壁掛けにもできます(8ページ参照)。



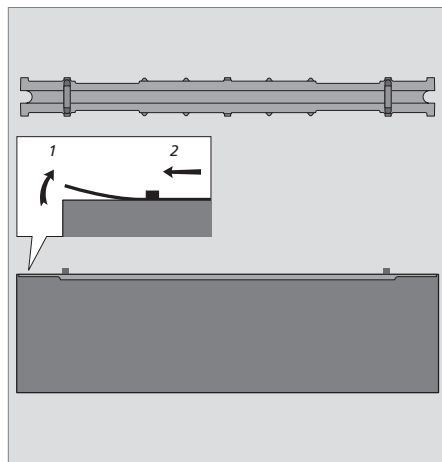
コンパートメントが開くスペースを、両側に確保するのが忘れないでください。



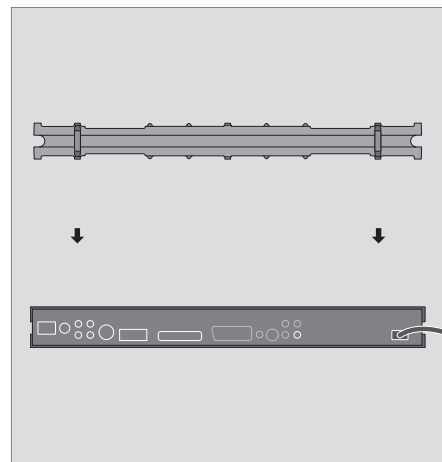
適切な通気を確保するため、少なくとも、ソケットユニットの両側には5 cm、上には10 cmの空間が必要です。ソケットユニットを断熱材などで包むことは、絶対にやめてください。



ソケットユニットは、縦方向にも横方向にも固定できます。ソケットユニットを横位置で設置する場合、端子類が下を向いていないと、ウォールブラケットに正しく固定できないのでご注意ください。



ケーブルカバー: 各端子を抜き差しするには、まずカバーを外さなければいけません。カバーの片側を持ち上げ、横にずらしながら外してください。すべてのケーブルは、ソケットユニット両端の開口部から、外に出しておかなければいけません。



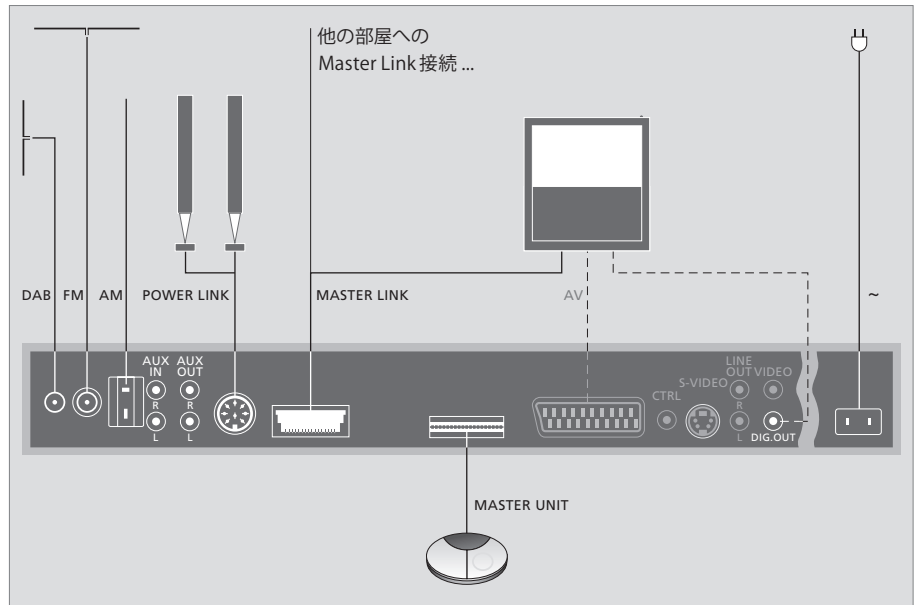
電源ケーブル: 安全のため、ケーブルカバーは必ず付けておいてください。電源ケーブルをソケットユニットの片側から出し、カバーを取り付けたあとは、誤って電源ケーブルをソケットから抜く危険はなくなります。

ケーブルの接続

まず、ソケットユニットの各端子を、ソケットユニット上に記された記号や図で確認してください。灰色になっている端子は、DVDを搭載したBeoCenter 2にしか装備されていません。

すべてのケーブルを接続し終えるまで、電源ケーブルをコンセントにつながないでください。

ソケットユニットの各端子は、ケーブルカバーで隠されています。カバーに描かれた図と5ページを参考にして、カバーを外してください。

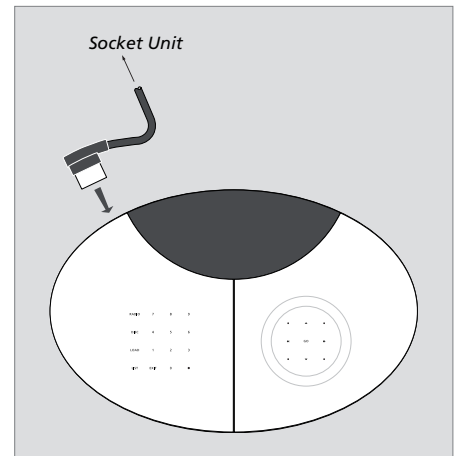


マスターユニットとの接続

付属のケーブルを使い、マスターユニットとソケットユニットを接続します。もっと長いケーブルが必要な時は、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。

Master Link 接続

ソケットユニットの Master Link と書かれた端子は、Master Link ケーブルを使ってテレビと接続します。この端子はまた、家中にサウンドを供給する BeoLink でも使用されます。



アンテナの接続 – AM/FM/DAB

まず最初に、DABアンテナを接続するようお勧めします。DAB ラジオ局は、お使いのシステムにDAB モジュールが内蔵されている場合のみ受信できます。

DAB と書かれた端子にDABアンテナ、FM と書かれた端子にFMアンテナ、AM と書かれた端子にAMアンテナを接続します。

AMループアンテナ、またはFM双極アンテナを使う時は …

聞きたいラジオ局を受信したあと、受信状態が最良になる位置まで、アンテナを水平方向に回してください。

DABアンテナを使う時は …

BeoCenter 2のガイドの10 ページを参照し、DAB AERIAL ADJUSTMENTメニューを使って、アンテナの設置場所を見つけてください。このメニューで、DAB 信号の強さがわかります。

DABアンテナは、縦方向につり下げるか、立てた位置で固定します。

信号が最強となる場所を見つけたら、BeoCenter 2 またはソケットユニットを、ウォールブラケットなどに固定しないでください。

スピーカー接続 – Power Link

Power Link と書かれた端子に、アクティブスピーカーを1本接続し、次のスピーカーにケーブルを送ってください。詳しくは、BeoLab スピーカーのガイドをご覧ください。

ヘッドフォンが接続されると、本製品に接続されたスピーカーからの音は消えます。大音量で長時間ヘッドフォンを使うと、聴力を損なう危険があります。

オーディオ/ビジュアル接続 – AV

DVD が搭載されたBeoCenter 2でのみ、使用できる接続方法です。

21ピンのAVケーブルを使い、ソケットユニットのAVと書かれた端子とテレビを接続します。21ピンAVケーブルを使わない接続方法は、すぐのちほど説明します。

DIG.OUT

サラウンドサウンドモジュールを内蔵したBang & Olufsen製のテレビに、本製品を接続する場合は、DIG.OUTと書かれた端子を、テレビまたはスピーカーのデジタル入力端子と接続しなければいけません。これに必要とされるケーブルがもし付属していなかったら、Bang & Olufsen 販売店から入手できます。

電源ケーブル:

電源ケーブルは、ソケットユニットの~と書かれたソケットに接続します。ただし、すべての接続が完了するまで、コンセントにはつながないでください。

21ピンAVケーブルを使わず、オーディオ/ビジュアル接続を行なうには …

お手持ちのテレビに21ピンAV端子がなくても、本製品との接続は行なえます。ただし、これが可能なのは、DVDを搭載したBeoCenter 2だけです。

- > ソケットユニットのCTRL 端子と、テレビ側のCTRL 端子を接続します。
- > ソケットユニットのS-VIDEO 端子と、テレビ側のS-VIDEO 端子を接続します。
- > ソケットユニットのVIDEO 端子と、テレビ側のVIDEO 端子を接続します。
- > ソケットユニットのDIG.OUT 端子と、テレビ側のデジタル入力端子を接続します。
- > ソケットユニットの、音声を出力するLINE OUT R およびL端子を、テレビ側のRおよびL端子と接続します。

外部機器を接続する端子は …

AUX IN R – L

アナログプレーヤーなど、再生を行なう外部機器を接続します。

AUX OUT R – L

ミニディスクや録音機などの外部機器を接続します。

ウォールブラケットを使った設置

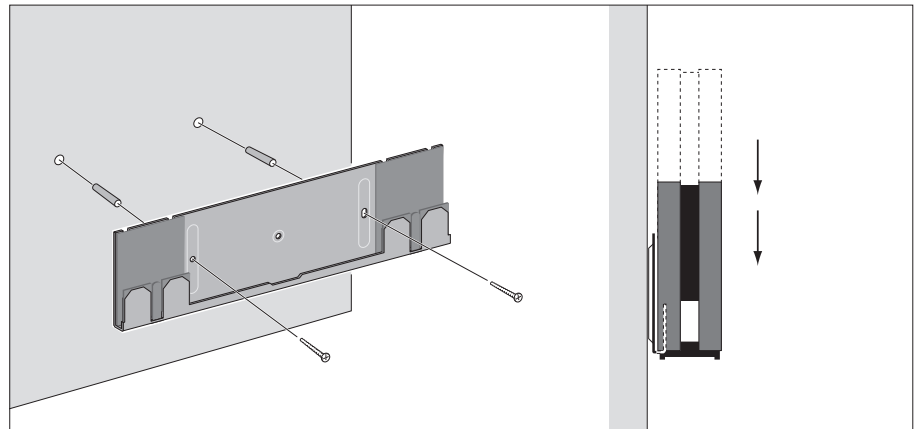
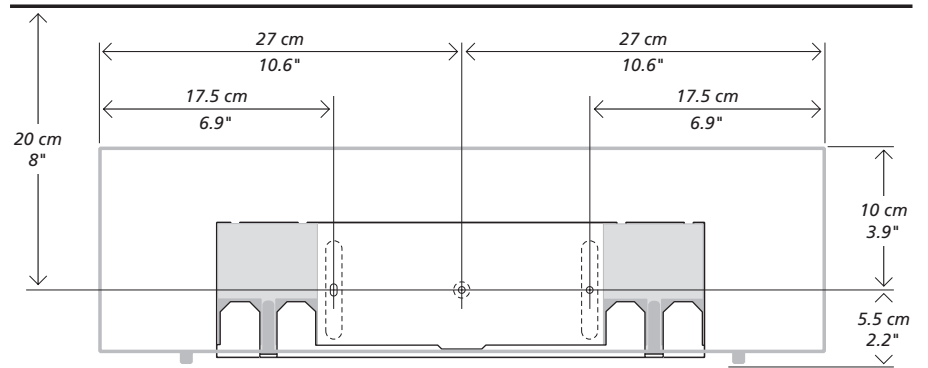
ソケットユニットは、付属のウォールブラケットに、縦位置でも横位置でも取り付けすることができます。

ウォールブラケットを使い設置する場合は、以下の手順に従ってください。

- ウォールブラケットを壁面にあてがい、ネジ穴を開ける場所を決めます。このページの図面を参考にして、ソケットユニットとウォールブラケットの位置関係を確認してください。
- ウォールブラケットを壁面に固定します。
- ソケットユニットを、ウォールブラケットに取り付けます。床のすぐ上に設置するのであれば、ソケットユニットへの全ケーブルの接続を終えたあと、ブラケットに取り付けてください。

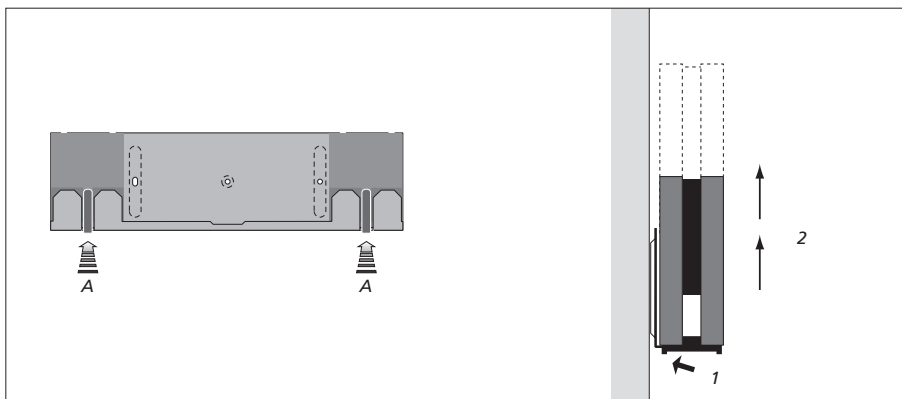
プラスターボード等の壁については、次ページの注意をよく読んでください。

使用するネジや金具について疑問があれば、Bang & Olufsen 販売店にお尋ねください。



ウォールブラケットの固定: 最低 6 kg の荷重に耐えられるネジ/金具を、2本使います。

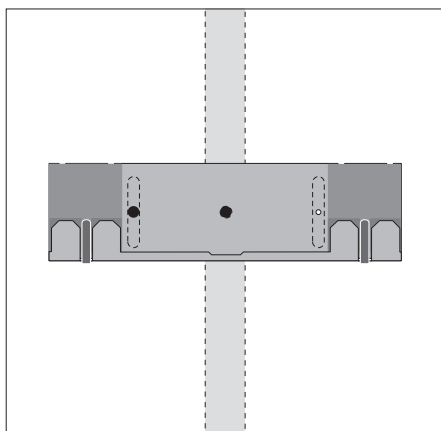
ソケットユニットをウォールブラケットに取り付ける: ソケットユニットを、スライドさせながらウォールブラケットにはめ込みます。ソケットユニットは、2個のロックがかかるまで押し下げてください。



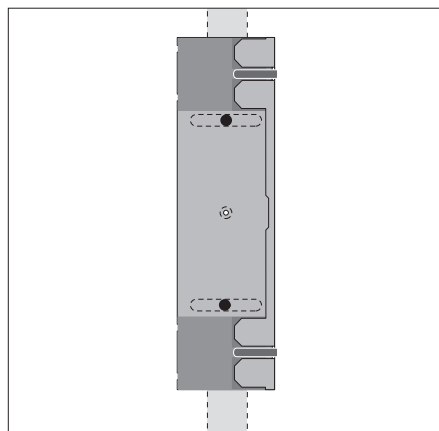
ウォールブラケットからソケットユニットを取り外すには:

ソケットユニットをがっちり固定するため、ウォールブラケットには2個のロック機構(左図A)が設けられています。取り外す際は、まずこのロックを解除してください。

2つのクリップを壁側に向かって押した後、ソケットユニットをブラケットから抜きます。



横位置での取り付け: プラスターボード等に取り付ける場合、ネジの1本は必ず木ネジ(4 mm)を使い、間柱へ最低でも15 mm ねじ込んでください。他のネジもプラスターボード用の物を使えば、いっそう安定します。



縦位置での取り付け: プラスターボード等に縦位置で取り付ける場合は、必ず2本の木ネジ(4 mm)を使い、間柱へ最低でも15 mm ねじ込んでください。

プラスターボードなど軽量の壁に取り付ける際の注意

BeoCenter 2ソケットユニットを、プラスターボードなど軽量の壁に取り付ける場合は、ウォールブラケットを必ず間柱に固定してください。

オーディオ/ビジュアルシステム

本製品は、単体として使えるだけでなく、Master Linkケーブルによる接続を行なうことで、オーディオ/ビジュアルシステムの一部としても使えます。

オーディオ/ビジュアルシステムに接続した場合は、そのシステム構成の中で、正しく動作するように設定しなければいけません。Beo4を使って正しいオプションに設定する方法を、以下にご説明します。

Master Linkケーブルを使いビジュアルシステムに接続した場合は、BeoCenter 2側に接続されたスピーカーから音を出すか、ビジュアルシステム側に接続されたスピーカーから音を出すかを選んでください。どちらのスピーカーを使うかは、BeoCenter 2ガイドの21ページで説明されている“DVD SOUND”メニューから選びます。
注意: この機能は、DVDを搭載したBeoCenter 2でのみ使用できます。

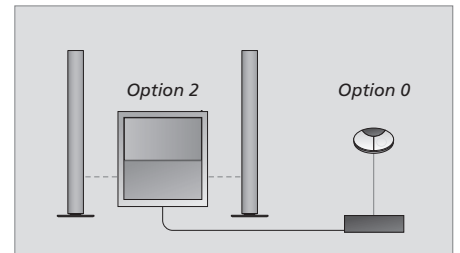
Beo4リモコンを使い、オーディオシステムの構成に合わせたオプションを設定するには …

- > ・ボタンを押し、押したままLISTを押します。
- > 両方のボタンを離します。
- > LISTを繰り返し押し、Beo4のディスプレイにOPTION?を呼び出したあと、GOを押します。
- > LISTを繰り返し押し、Beo4のディスプレイにA.OPTを呼び出したあと、適切な番号ボタンを押します(0, 1, 2, 5 または 6)。

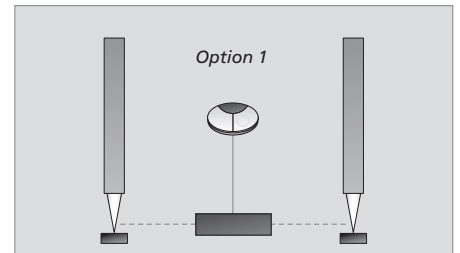
ビジュアルシステムのオプションを設定する時は、V.OPTを呼び出してください。

オプション設定は、全部で5種類あります:

- Option 0: ビジュアルシステムと接続された本製品に、スピーカーが直接つながれていない場合の設定です。他の設定からOption 0へ変更する時は、まずOption 1にしたあと、0に設定してください。
- Option 1: スピーカーが直接つながれている本製品を、単体で使う、またはビジュアルシステムと接続して使う場合の設定です。
- Option 2: 本製品を、別の部屋に設置されたビジュアルシステムと接続する場合の設定です。
- Option 5: リンクルームで、本製品をBang & Olufsenのテレビと接続する場合の設定です。
- Option 6: 本製品が、Bang & Olufsenのテレビがないリンクルームに設置されている場合の設定です。



オーディオ/ビジュアルシステム。本製品がビジュアルシステムに接続され、スピーカーもビジュアルシステム側に接続されています。この場合、BeoCenter 2ガイドで説明されている機能の一部、たとえばタイマープログラム等は、ビジュアルシステム側が担当します。



単体での使用。

1つの室内に設置されたオーディオ/ビジュアルシステム

直接スピーカーがつながれた BeoCenter 2 を、テレビに接続している場合 (Option 1-1) は、DVD を見ながらラジオを聞くことができます。ただし、本体パネルから操作できる機能は、ラジオのものだけとなります。Beo4 による DVD の操作は、テレビを経由して実行されます。注意: この機能は、DVD を搭載した BeoCenter 2 でのみ使用できます。

テレビのスイッチをオンにすることなく、ビジュアルシステムからのサウンドを本製品に接続されたスピーカーで聞くには …

- > LIST を繰り返し押し、Beo4 のディスプレイに AV を呼び出します。
- > それから、TV 等の映像源ボタンを押します。

Beo4 ディスプレイが AV を表示する前に、どれかの映像源ボタンを押すと、テレビ画面のスイッチが入ってしまいます。

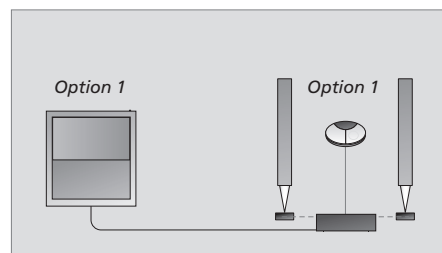
本製品からのサウンドを、テレビのスピーカーで聞くには …

- > LIST を繰り返し押し、Beo4 のディスプレイに AV を呼び出します。
- > それから、RADIO 等の音源ボタンを押します。

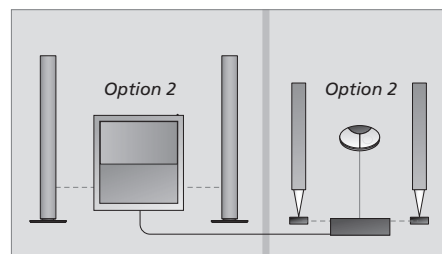
2つの室内に設置されたオーディオ/ビジュアルシステム

本製品に直接スピーカーが接続されている場合は、別の部屋に、オーディオ/ビジュアルシステムを設置することができます (Option 2-2)。

ただし、DVD を搭載した BeoCenter 2 に、その BeoCenter 2 が置かれている部屋で DVD 再生を指示しても、テレビのスイッチは入りません。



1つの室内に設置されたオーディオ/ビジュアルシステム



2つの室内に設置されたオーディオ/ビジュアルシステム

システムのクリーニング

クリーニングなどの日常のお手入れは、お客様ご自身にお願いしております。以下の説明に従って、実行してください。

DVD ディスクなどは、ていねいに扱ってください。常にディスクの縁を持ち、プレーヤーから取り出したあと必ず本来のケースに収納していれば、クリーニングの必要はありません。

製品のクリーニング

ホコリなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。油汚れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を数滴だけ混ぜた水にケバのない布を浸し、その布をよく絞って拭き取ってください。

本製品の光学部品のクリーニングを試みたり、カバー類を外すことは、絶対にやめてください。このような作業は、専門のサービス員にお任せください。

本製品の各部のクリーニングに、アルコールなどの溶剤は絶対に使わないでください。

注意: 指紋やホコリなどでディスクが汚れた場合は、柔らかくケバのない清潔な布で拭き取ってください。溶剤または研磨性のクリーナーは、絶対に使わないでください。高温、高湿を避け、ディスクの表面には書き込みをしないでください。



ディスクの取り扱い: ディスクをクリーニングする時は、中央から外縁に向かって直線状に拭っていきます。

オーディオ/ビジュアルシステム

本製品をビジュアルシステムに接続する, 6
オプション設定, 10
オーディオ/ビジュアルシステムを使う, 11

Beo4 リモコン

Beo4 リモコンを使う, BeoCenter 2 Guide p. 22

ケーブル

ケーブルの接続, 6
ケーブルカバーの取り付け, 5

CD プレーヤー

CDの名前を削除, BeoCenter 2 Guide p. 12
CDのセット, BeoCenter 2 Guide p. 5
CDのネーミング, BeoCenter 2 Guide p. 12
CDの再生, BeoCenter 2 Guide p. 4
聞きたいトラックだけを再生, BeoCenter 2 Guide p. 12
トラックのランダム再生, BeoCenter 2 Guide p. 12
CDを最高12時間リピート再生, BeoCenter 2 Guide p. 12

クリーニング

本製品のお手入れ, 12
CDの取り扱い方, 12

クロック

内蔵クロックのセット, BeoCenter 2 Guide p. 15

接続

アンテナ端子, 6
ソケットユニット, 6
本製品をビジュアルシステムに接続する, 6
スピーカーの接続, 6
ヘッドフォンの接続, BeoCenter 2 Guide p. 5

連絡先

Bang & Olufsenの連絡先, BeoCenter 2 Guide p. 25

DAB ラジオ

DAB 音声信号圧縮の調整 – DAB DRC, BeoCenter 2 Guide p. 10
DAB アンテナの調整, BeoCenter 2 Guide p. 11
DAB アンテナ端子, 6
DAB ラジオの選局, BeoCenter 2 Guide p. 10–11

削除

CDの名前を削除, BeoCenter 2 Guide p. 12
ラジオ局を削除, BeoCenter 2 Guide p. 12
編集した曲の並びを削除, BeoCenter 2 Guide p. 12

ディスプレイ

表示される情報の説明と変更方法, BeoCenter 2 Guide p. 5 and 15

DVD

DVD – オーディオ言語, BeoCenter 2 Guide p. 20
DVDの画面メニュー, BeoCenter 2 Guide p. 20
DVDの操作, BeoCenter 2 Guide p. 18
DVD OPTIONSメニュー, BeoCenter 2 Guide p. 20
DVD – Parental Lock, BeoCenter 2 Guide p. 20
DVD – 字幕言語, BeoCenter 2 Guide p. 20
DVDの再生, BeoCenter 2 Guide p. 18

初期設定

初期設定の手順, BeoCenter 2 Guide p. 8

ヘッドフォン

ヘッドフォンの接続, BeoCenter 2 Guide p. 5

インジケータライト

インジケータライト, BeoCenter 2 Guide p. 5

言語

ディスプレイに表示する言語を変更, BeoCenter 2 Guide p. 15

DVD用の言語を変更, BeoCenter 2 Guide p. 20

スピーカー

スピーカーの接続, 6

メンテナンス

本製品のお手入れのしかた, 12

Master Link

オーディオ/ビジュアル設定, 10

オプション設定, 10

オーディオ/ビジュアルシステムの使い方, 11

メニュー

メニュー内の記号について, BeoCenter 2 Guide p. 6

メニューの使い方, BeoCenter 2 Guide p. 7

ネーミング

CDの名前を削除, BeoCenter 2 Guide p. 12

CDに名前をつける, BeoCenter 2 Guide p. 12

ラジオ局に名前をつける, BeoCenter 2 Guide p. 10

N.Music

N.MUSICの再生, BeoCenter 2 Guide p. 9

N.Radio

N.RADIOの受信, BeoCenter 2 Guide p. 9

操作パネル

操作/パネルの概要, BeoCenter 2 Guide p. 4

オプション

本製品に正しいオプションを設定, 10

暗証番号

暗証番号システムをオンにする, BeoCenter 2 Guide p. 16

暗証番号を変更または削除, BeoCenter 2 Guide p. 16

暗証番号を忘れてしまったら, BeoCenter 2 Guide p. 16

マスターコードの入力, BeoCenter 2 Guide p. 16

暗証番号の使い方, BeoCenter 2 Guide p. 16

設置

本製品の設置, 4

設定

クロックの設定, BeoCenter 2 Guide p. 15

DVD再生の初期設定を行なう, BeoCenter 2 Guide p. 19–20

サウンドの調節, BeoCenter 2 Guide p. 14

ラジオ

ラジオ局を削除, BeoCenter 2 Guide p. 10

ラジオ局を移動, BeoCenter 2 Guide p. 10

ラジオ局に名前をつける, BeoCenter 2 Guide p. 10

ラジオのスイッチをオン, BeoCenter 2 Guide p. 4

ラジオ局の受信, BeoCenter 2 Guide p. 10

ランダム再生

各トラックを順不同に再生, BeoCenter 2 Guide p. 12

リピート

CDのリピート再生, BeoCenter 2 Guide p. 12

接続パネル

接続端子の概要, 6

サウンド

音量の調節と消音, BeoCenter 2 Guide p. 4

ステレオからモノへの変更, BeoCenter 2 Guide p. 10

音量、低域、高域、ラウドネスの調節, BeoCenter 2 Guide p. 14

タイマー

内蔵クロックの設定開始, BeoCenter 2 Guide p. 15

システムの演奏を自動的に開始/停止, BeoCenter 2 Guide p. 13

タイマー演奏機能のスイッチをオン, BeoCenter 2 Guide p. 13

タイマー設定の編集、削除、確認, BeoCenter 2 Guide p. 13

トラック

聞きたいトラックだけを再生, BeoCenter 2 Guide p. 12

各トラックを順不同に再生, BeoCenter 2 Guide p. 12

ウォールブラケット

ウォールブラケットへの取り付け, 8



本製品は、EEU 指令 89/336 および 73/23 に規定されたすべての条件を満たしています。

技術仕様や機能、および使用方法は、事前の予告なく変更される場合があります。

